

震災の復旧・復興工事等のアンケート調査結果(意見集約)

H29. 4. 11

問5-4 公共工事は、受注ない。(その理由)

- 1 代理人(技術者)や職人(技能者)が不足しており、受注できない。
- 2 公共工事予定価格と積算額(見積額)に乖離があり、入札対応できない。
- 3 民間工事(お得意様)を優先している為、国・県等の公共工事に対応できない。

問6-14 その他の事項があれば下記に記入してください。

- 1 下請業者や専門工事業者(内装、左官工事等の職人)が不足しており工程等が組めない。
- 2 社員及び外注技能者の精神的・肉体的疲労が心配である。
- 3 職人の高齢化を危惧しており、技能職が不足するのではないか。

問8 熊本地震災害後、建築協会として対応すべきと思われた事項

- 1 被災の全容及び会員各社の被災状況の把握と協会活動としての初動方針の協議及び通知
- 2 不足業者の確保等の為、各都道府県の専門工事業へ熊本の企業への応援要請
- 3 公共事業(災害復旧工事等)発注に対して、職人不足対応や積算額、発注時期、発注方法等の柔軟な対応策について、国・県等との協議
- 4 被害状況や国・県等の対応策(グループ補助金等)に関する情報提供
- 5 会員各社による緊急応急仮設資材(コンパネ・ブルーシート・散水タンク・土のう袋・電池)の備蓄

※ 同様に意見につきましては、纏めて記載しております。

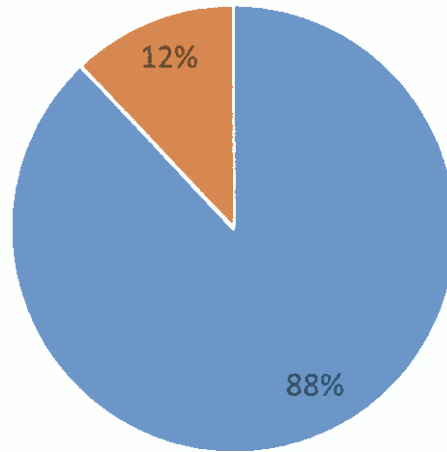
アンケート調査結果

H29. 4. 11現在

	回答番号	回 答 内 容	件数	
問1	1	増加した	73社	
	2	増加していない	10社	83
問2	1	震災対応工事が増えた	22社	
	2	従来の取扱工事が増えた	6社	
	3	震災対応工事が増えたが、従来の工事は増えていない	15社	
	4	震災対応工事、従来の取扱工事が共に増えた	30社	73
問3	1	まだまだ余力がある	2社	
	2	ほぼいっぱい状況	48社	
	3	逼迫した状況	33社	83
問4	1	3ヶ月程度	7社	
	2	半年程度	12社	
	3	1年程度	19社	
	4	2年程度	5社	43
問5	1	積極的に応札している。	7社	
	2	震災以前と公共工事に対する対応は変わらない。(案件次第)	58社	
	3	民間工事を優先している。	14社	
	4	公共工事は、受注しない。(その理由)	4社	83
問6	1	原材料、資材が高騰する	37社	
	2	人手が足りない	79社	
	3	求人しても人が集まらない	50社	
	4	人件費が高騰する	50社	
	5	下請金額が高騰する	63社	
	6	顧客から十分な工事金をもらえない	7社	
	7	震災による実勢単価、実勢価格の把握が困難である。	41社	
	8	重機、リース材、足場リースが高騰する	33社	
	9	顧客の入金が遅れる	5社	
	10	資金繰りが厳しい	3社	
	11	金融機関からの融資等の対応を危ぶまれる	0社	
	12	他県からの同業者の営業により受注機会が少なくなる	1社	
	13	不良不適格業者が多くなり受注機会を失う又トラブルに巻き込まれた	1社	
	14	その他の事項があれば下記に記入してください	5社	375
問7	1	H29. 3. 1.	100	
	2	H30. 3. 1	平均 108	
	3	H31. 3. 1	平均 100	
	4	H32. 3. 1	平均 83	
	5	H33. 3. 1	平均 76	

問1

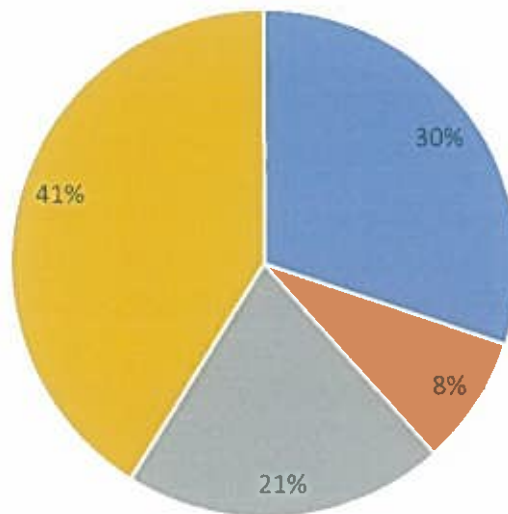
平成29年3月1日の時点で、前年度(H28. 3. 1)より工事量は増加しているか。



- 増加した 73社
- 増加していない 10社

問2

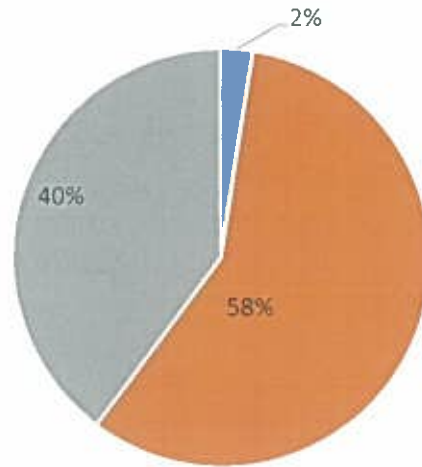
増加した方の理由をお答えください。



- 震災対応工事が増えた 22社
- 従来の取扱工事が増えた 6社
- 震災対応工事が増えたが、従来の工事は増えていない 15社
- 震災対応工事、従来の取扱工事が共に増えた 30社

問3

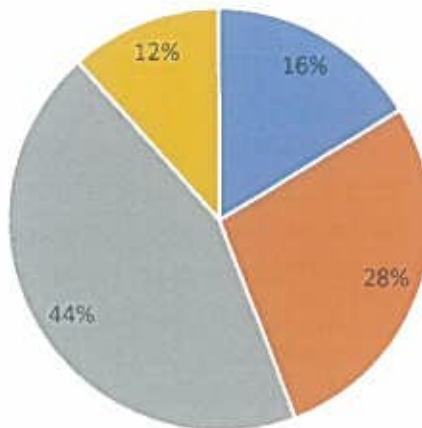
平成29年3月1日時点で、貴社の施工能力についてお答えください。



■ まだまだ余力がある	2社
■ ほぼいっぱい	48社
■ 逼迫した状況	33社

問4

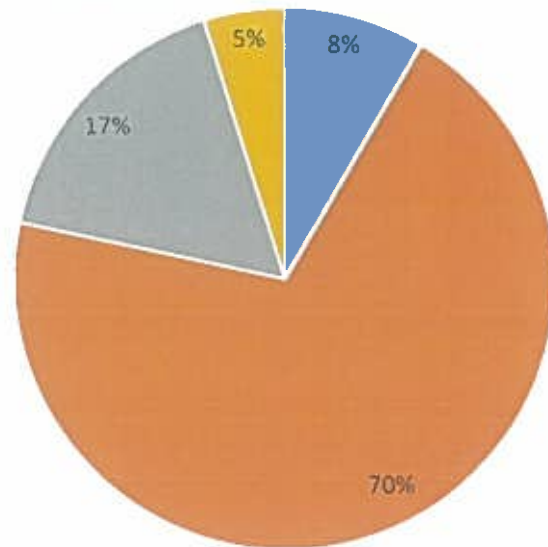
問3で3(逼迫した状態)のお答えをした方にお尋ねします。逼迫した状況で施工が危ぶまれる(施工を待ってもらっている)状況は今後どのくらい続きますか。



■ 3ヶ月程度	7社
■ 半年程度	12社
■ 1年程度	19社
■ 2年程度	5社

問5

公共工事の不調・不落についてお尋ねします。災害復旧・復興工事発注に対する対応はどの様にお考えですか。

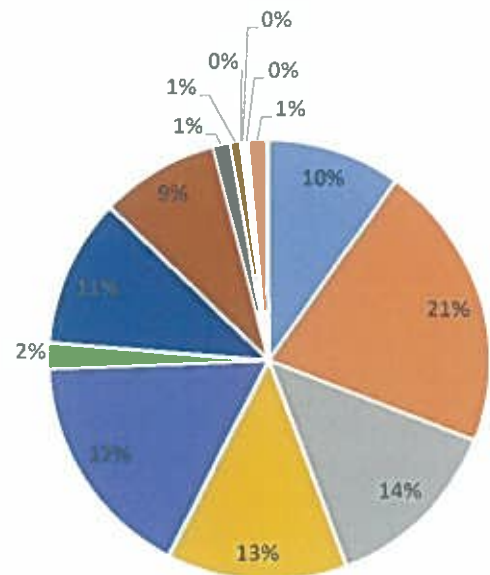


- 積極的に応れている。 7社
- 震災以前と公共工事に対する対応は変わらない。(案件次第) 58社
- 民間工事を優先している。 14社
- 公共工事は、受注しない。(その理由) 4社

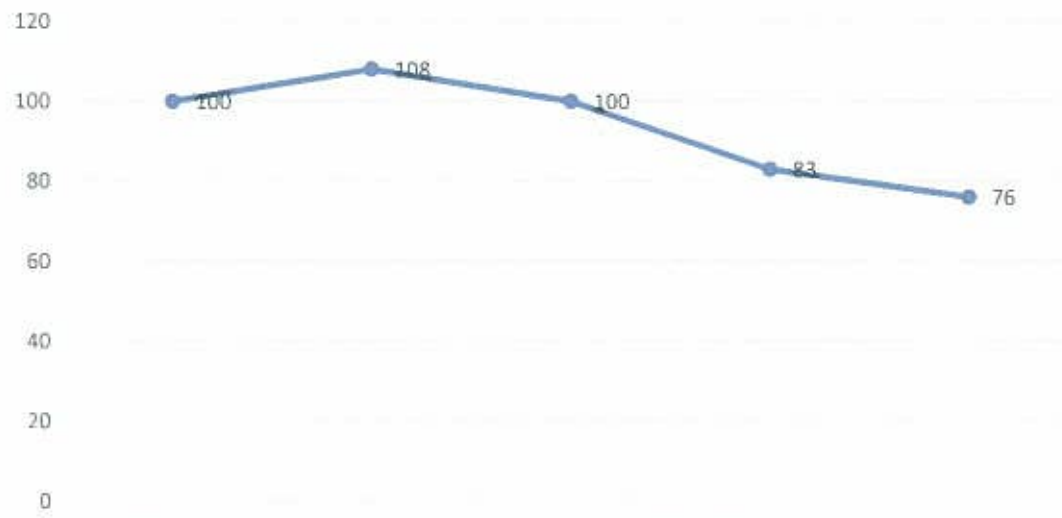
問6

問3で貴社の施工能力についてお答えいただきましたが、現時点又は、近い将来、危惧する項目、困っている項目に複数〇をお付け下さい。

- 原材料、資材が高騰する 37社
- 人手が足りない 79社
- 求人しても人が集まらない 50社
- 人件費が高騰する 50社
- 下請金額が高騰する 63社
- 顧客から十分な工事金をもらえない 7社
- 震災による実勢単価、実勢価格の把握が困難である。 41社
- 重機、リース材、足場リースが高騰する 33社
- 顧客の入金が遅れる 5社
- 資金繰りが厳しい 3社
- 金融機関からの融資等の対応を危ぶまれる 0社
- 他県からの同業者の営業により受注機会が少なくなる 1社
- 不良不適格業者が多くなり受注機会を失う又トラブルに巻き込まれた 1社
- その他の事項があれば下記に記入してください 5社



工事量の推移



H29. 3. 1. 100 H30. 3. 1 平均 108 H31. 3. 1 平均 100 H32. 3. 1 平均 83 H33. 3. 1 平均 76